

校訓	盡 己	令和2年度学校通信 「松崎中だより」 第8号	発行日	令和2年9月30日
教育目標	すべてのことに全力で取り組む生徒の育成 「一生懸命勉強する」「優しい心を持つ」「感動する」生徒の育成		発行者	伊丹市立松崎中学校 校長 佐藤 幸宏

黄金色の絨毯もいつしか畑に変わり、虫のきれいな声がどこからともなく聞かれるようになりました。朝夕も涼しく、日中の日差しも和らぎ秋の到来を感じさせます。読書、スポーツ、芸術の秋と言われる充実（実り）の季節となりました。3年生は、自らの将来を見据える大切な時期でもあり、1、2年生は、学校を中心になって活躍する時期となります。



9月5日には、伊丹市英語暗唱・スピーチコンテストが産業情報センターで開催され、暗唱の部では2年生前田悠貴くんが「Zorba's Promise」、黒瀬穰織さんが「Stone Soup」を、スピーチの部では3年生小原那奈美さんが「Quake Safety」を発表し、黒瀬さんが最優秀賞に、小原さんが優秀賞に輝きました。事前に発表内容を聞かせていただきましたが、3人の意気込みと迫力を感じました。グローバル化が急速に進む中、こうした体験は、きっと将来に繋がる非常に重要なものとなり、今後の生活にも生きて働く力となるでしょう。

9月14日～16日、各学年の競技大会（体育大会の代替行事）が行われました。好天にも恵まれ、司会・進行等、どの学年もそれぞれのカラーを出して運営されているのが印象的でした。リレー競技も白熱し、特にラケットリレーは、笑顔も加わり非常に楽しく観戦させていただきました。最後の大縄跳び競争は、どの学年も盛り上がり、声かけ、リズム合わせなど、クラスの団結力を強く感じました。新型コロナウイルス感染症予防対策として、様々な行事が中止・縮小された今年度、気持ちが高まりにくい中でも、これだけ盛り上がり、充実させることは素晴らしいことです。できる範囲の中で、有意義に最大限に楽しむ術を、どの学年も持ち合わせていることを嬉しく思います。そこには、保護者、地域の方々、そして先生方の思い・支えがあるのは言うまでもありません。

次は、3年生が修学旅行の代替行事である淡路島での校外学習、2年生がトライやる・ウィークに替わる「トライやる・ディ」、1年生が秋の遠足と、それぞれ準備を進めているところです。新しい生活様式をもとに、有意義な行事を皆さんと創ってほしいと思います。

学校支援図書ボランティア



本校には、学校図書館司書の高石先生とともに、皆さんの読書ができる環境づくりに努めてくださるボランティアの方（乗金さん、吉田さん、谷野さん）がおられます。読書は、活字を通していつでもどこでも様々な世界に連れて行ってくれ、創造力を豊かにしてくれます。これからの生き方にも影響を与えるといっても過言ではありません。一人でも多くの人に、読書の喜びを感じてもらえるよう取り組んでおられます。松中図書館には、様々なジャンルの本が満載です。秋が深まる中で本の世界に飛び込み、自己を成長させましょう。

コロナウイルス感染症予防に向けて！

- ・毎朝の検温、記録により風邪症状の有無等の確認
- ・石けんを使ったこまめな手洗いの徹底
- ・咳エチケットの徹底（マスクの着用）
- ・健康管理（十分な睡眠、適度な運動、バランスのとれた食事）
- ・不要不急の外出を控える
- ・三密（密閉、密集、密接）を避ける！

